Ⅷ 寄宿舍経営計画

1 寄宿舍の教育目標

寄宿舍は、学校教育目標の達成を目指して、舎生一人一人の人間形成の場として重要な機能を果たしている。各学部、家庭及び地域等との連携を図り、日常の集団生活を通じて舎生の実態を把握し、意図的・組織的な生活支援を行い、基本的な生活習慣、社会性、自主的な生活態度を育成することを目標とする。

- 病気やけがに気をつける元気な子ども－安全な生活を保ち、健康な心身を育む
- 仲よく助け合い生活する子ども－情緒の安定を図り、対人関係の拡大を図る
- 自分のことは自分でする子ども－意欲を引き出し、自ら積極的に取り組む力を育む

2 経営の方針

- (1) 集団生活の特性と機能を生かし生活支援を行いながら、個性を伸ばし、豊かな心を育てる。
- (2) 個別の支援計画に基づく、舎生一人一人の障害等の実態を把握し、健康、安全に留意しながら個々に応じた支援を計画的に進める。
- (3) 各学部、家庭及び地域等との連携を深め、寄宿舍教育の充実に努める。

3 経営の重点

- (1) 日常生活の中で、望ましい生活習慣や意欲、態度を育てる。
- (2) 舎生、一人一人の理解に努め、心身の健全な発達を図る。
- (3) 舎内外の環境整備に努めるとともに、健康管理と安全指導の充実に努め、舎生の健康保持と安全確保に努める。
- (4) 行事や日々の生活を通して、生活経験の拡大を図る。
- (5) 個々の実態を把握し、指導の充実に努めるため実践的な研究、研修に努める。
- (6) 各学部、家庭、地域等との連携を密にし、生活支援の充実に努める。

4 男女棟の経営計画

(1) 指導の方針

- ア.舎生一人一人の状態や性格を把握し、個々の持つ良さや可能性を見だし、生き生きと生活できるよう指導、支援に努める。
- イ.舎生がより充実した毎日を過ごせるように、遊びの提供や環境作りの工夫をし、職員と舎生又は舎生同士の関わりが広がるよう指導、支援に努める。
- ウ.日常生活の中で、舎生に適した支援の内容を選び、基本的な生活習慣が身に付くよう指導、支援に努める。

(2) 指導の重点

舎生の安全確保と事故防止のため、個々の実態を踏まえた指導体制を取る。

(3) 業務内容

ア 生活支援の計画・立案と推進

(ア)生活習慣の確立

- ①舎生の支援に関すること
- ②食事に関すること
- ③入浴に関すること
- ④排せつに関すること

(イ)日課全般

(ウ)指導体制

- ①全般に関すること
- ②指導体制に関すること

イ 棟相互・各分掌・関係機関との連絡調整

ウ 舎室編制に関すること